

2021年度春学期 日本事情1
浅野担当分「日本の色彩」
第5回 現代日本の色彩

浅野 晃
関西大学総合情報学部



([1],[2],…は、テキストの文献番号です。)

色彩技術と色彩文化 🌈

フェルメール・ブルー



ヨハネス・フェルメール
「牛乳を注ぐ女」
(1658頃)

(Google Art Project)

フェルメール・ブルー



この青色は
フェルメール・ブルーとよばれています。

この青色の顔料は
ウルトラマリンブルーといい、
ラピスラズリ(瑠璃)という高価な鉱石から
作られています。

色を作る, ということ

色を作るには

かつては, その色をした天然の材料(鉱物・植物など)を使う必要があった

使える色は, 材料によって限定されていた

ウルトラマリンブルーは非常に高価 ✖

西洋で青が高貴な色とされたのは,
青色の材料が貴重で, ふうふうの人には使えないから,
という理由もあった

化学合成による色彩材料の登場

産業革命以後

化学合成によって色彩材料が作られるようになり,
色彩材料(顔料・染料)は, 安く大量に得られるようになった

その後も, 現代に至るまで, 色彩材料の開発や塗装・染色の研究は進んでいる

講義第4回で扱った, かつては黒と赤だけだったランドセルがカラフルになったことも,
材料と染色技術の進歩も関係しているらしい



イラストボックス
<https://www.illustrat-box.jp>

自由に色を作ることのできる時代へ

色彩材料が進歩しても,

何かの材料がもともと持っている色を
選んでいることに変わりはない

絵の具を混ぜることはできるけれど...

色を自由自在にコントロールするには?

カラー印刷とカラーテレビの登場

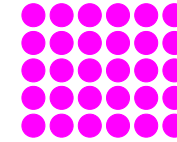
19世紀の終わりから20世紀にかけて、
カラー写真、カラー映画、カラー印刷、カラーテレビが登場

これらは、
「混色」を行う

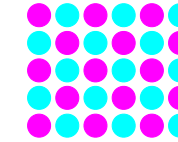
いくつかの基本となる色を
任意の割合で混ぜて望みの色をつくる

カラープリンタ(インクジェット方式)

点の密度を変えて、色をコントロール



濃いマゼンタ

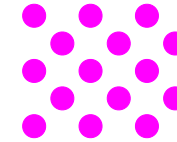


マゼンタ+シアン=青

縮小すると



青に見えませんか？



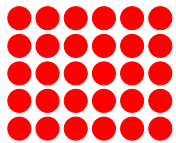
薄いマゼンタ

薄い色は、点がまばらなのがでてしまう

元は3色インクだったが
いまは薄い色のインクを加えて、
たくさんのインクを使う

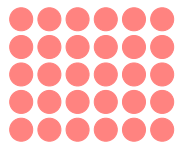
カラーディスプレイ

点の明るさを変えて、色をコントロール



濃い赤

各点の色の微妙な明るさをコントロールできるので、
印刷よりも広い範囲の色を精密に表現することが可能



薄い赤

いまでは、写真は紙ではなく  や  で見るのが普通になりました

色彩は、「自由」を得た！

広告ポスターと色彩[1]

昔と今のポスター

1980年代のポスターの例 [3]

2019年のポスターの例 [4]

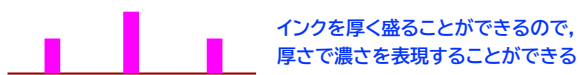
(著作権の問題があるので掲載していません)

1980年代のポスターのほうが、彩度が高く色がくっきりしている？

1980年代末の日本は「バブル景気」の時代、
なんでも派手だった…から？

印刷技術の違い[2]

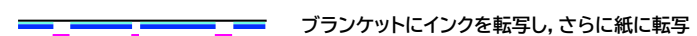
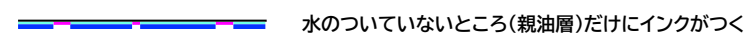
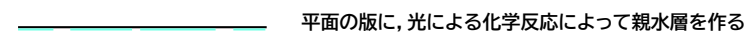
1980年代の写真印刷は、グラビア印刷(凹版)



細かい柄模様は苦手
版が高価なので大部数の
印刷にしか使えない

印刷技術の違い

現在の写真印刷は、オフセット印刷(平版)



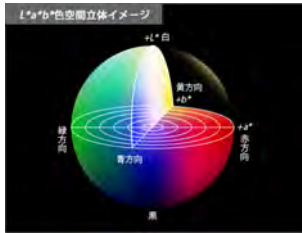
親油層の形や大きさを細かく制御でき、繊細な表現が可能
少ない部数の印刷もできる

インクの厚みを変えることはできない
彩度はグラビア印刷ほど高くない

昔と今のポスターは

浅野ゼミでの卒業研究[1]では、1980年代のポスター[3]と現在のポスター[4]からファッション分野の広告をいくつか選び、分光測色計で測定

L*a*b*表色系で測定結果を表し、比較



1980年代のポスター群と
現代のポスター群で、
L*値の分散は変わらない

色あいを表す、a*値・b*値については
1980年代のものの方が分散が大きい

昔のポスターのほうが、各点での色の違いが大きく、
「派手」である

L*軸 明るさ
a*軸 緑↔赤
b*軸 青↔黄

[5]

現代日本の色彩文化に関する 各種の話題

白物家電

白物家電とは

冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機、エアコンなど、生活に密着し家事を行うための家電(家庭電気製品)

日本では、1950年代末から家電が普及しはじめた

冷蔵庫や洗濯機は、ほとんどが白だったので「白物」とよばれるようになった

あまり使われない言葉だが、テレビやオーディオ機器など娯楽に用いる家電を「黒物」ということがある



私の家にある
(左)エアコンのリモコン
(右)ビデオレコーダーのリモコン

たしかに白と黒です。

現代では

白系統の色でも、純白でなくアイボリーやグレーが用いられる
また、さまざまな色のものが増えてきた



私の家の台所
電子レンジは白、冷蔵庫はグレーです

「黒物」も、
一時期ノートパソコンが
銀色が多くなって、「銀パソ」とよばれている時期が
あったが、いまは色のバリエーションが
多くなっている

白い自動車

自動車の色といえば「白」?

1980年代末、私が若者だった頃、自動車の色といえば「白」だった

当時、日本の新規登録自動車の70%が白だった[7]

現在では、新規登録自動車のうちの「白」の割合には、
世界各地でそれほど大きな差はない[8]

世界中どこでも、白やグレー、黒など無彩色が多い

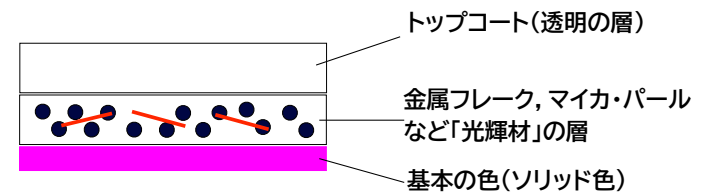
日本の自動車の特徴は、3コート色が突出して多いこと

3コート色とは?

	3コート色(%)	白色(%)
日本	26	31
中国	13	31
韓国	11	34
アジア	14	30
インド	4	20
北米	8	25
メキシコ	6	28
南米	0	37
アフリカ	1	45
ロシア	0	23
欧州	2	27
全世界	10	29

3コート色

塗装が3層できている



見る向きによって、微妙に色合いが変化する

青いカレー🍲

青いカレー



「青いカレー」というものが売られている

味はふつうのカレー🍲と同じ

この色のために食欲をなくしてダイエット😓？



でも、青いお菓子は
ふつうにあるけど…😓

青いカレー

浅野ゼミでの卒業研究[9]で、

青いお菓子を食べる前と食べた後で、
青いカレーへの嫌悪感に変化するか？ という実験をした

青い菓子によって、青いカレーへの嫌悪感、多少は軽減する、という結果

青い食品への嫌悪感、日本🇯🇵だけのものか？はわからないが 世界共通のものではない

米国では、青いフライドポテトがあるらしい

私は、タイ・チェンマイの街の屋台で、さまざまに着色されたご飯🍚を見ました。

青は人気があるらしいです。

課題・ごあいさつ

課題・ごあいさつ

テキストにある演習問題の回答を、関大LMSで提出してください。

ごあいさつ

「日本事情1」の私の担当分は、これで終わりです。

第3回以降は、みなさんと講義室でお会いできなくなったのが残念です。

演習の回答では、みなさんの育った国・地域の興味深いお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。

みなさん、どうぞお元気で。

浅野晃

